

# 野外コウノトリ 200羽に 放鳥開始15年



国の特別天然記念物コウノトリについて、兵庫県立コウノトリの郷公園（豊岡市祥雲寺）は25日、京都府京丹後市でひな1羽の巣立ちを確認し、国内の野外で暮らす数が200羽に達したと発表した。人工飼育によって2005年から放鳥が始まり、17年6月に100羽に到達。そこからわずか3年で倍増した。

今年の繁殖シーズンは2月上旬に始まり、5月30日に豊岡市で全国で最も早い1羽目のひな

## 京丹後で幼鳥確認

が巣立った。各地で巣立ちが相次ぎ、今月23日で199羽に。200羽目は京丹後市久美浜町市場の人工巣塔でふ化した雌で、同25日正午ごろ、同公園職員が確認した。

県内では今年、豊岡市と養父市に加え、朝来市で初めて繁殖に成功。3市で16羽が巣立っている。国内で栃木県小山市で初めて誕生したひなが無事に巣立てば、繁殖地が東日本にも広がる見通しだ。

1971年に野生種が絶滅し、まもなく半世紀。全国7府県でひなが誕生している現状を踏まえ、同公園の江崎保男園長は「200羽目の巣立ちが豊岡市でなかったことは、全国に繁殖地が広がっている証し。関係者の努力や熱意で節目を迎えられた」と感謝した。

（阿部江利）

200羽目を数えた野外コウノトリの幼鳥＝25日、京都府京丹後市（県立コウノトリの郷公園提供）

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ【 】

- ①野外コウノトリ200羽目はどこで確認されましたか。  
 ④江崎保男園長の言葉を読んで、感想を書きましょう。

京都府    市

- ②このことを発表した施設の名前を答えましょう。

兵庫県立       公園

- ③野外コウノトリが100羽に到達してから何年で200羽になりましたか。

年